

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公表番号】特表 2011-528037 (P2011-528037A)

【公表日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-045

【出願番号】特願 2011-518838 (P2011-518838)

【国際特許分類】

C 07 D 277/12 (2006.01)

A 61 K 31/426 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 7/00 (2006.01)

A 61 P 7/06 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 1/16 (2006.01)

【F I】

C 07 D 277/12 C S P

A 61 K 31/426

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 7/00

A 61 P 7/06

A 61 P 35/02

A 61 P 3/10

A 61 P 1/16

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 13 日 (2012.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

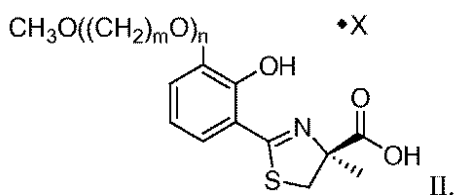
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I I の塩又はその多形体：

【化 1】



(式中、m は 0 ~ 8 の整数であり、n は 0 ~ 8 の整数であり、X は C a ( O H )<sub>2</sub>、M g ( O H )<sub>2</sub>、酢酸マグネシウム、K O H、N a O H、Z n ( O H )<sub>2</sub>、酢酸亜鉛および Z n ( O H )<sub>2</sub> / M g ( O H )<sub>2</sub> から選択される対イオンである)。

【請求項 2】

X が、C a ( O H )<sub>2</sub>、M g ( O H )<sub>2</sub>、K O H、Z n ( O H )<sub>2</sub> から選択される請求項 1 に記載の 塩又はその多形体。

## 【請求項 3】

X が  $Mg(OH)_2$  である請求項 2 に記載の塩又はその多形体。

## 【請求項 4】

m が 2 であり、n が 3 である請求項 1 に記載の塩又はその多形体。

## 【請求項 5】

m が 2 であり、n が 2 である請求項 1 に記載の塩又はその多形体。

## 【請求項 6】

マグネシウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ) エトキシ) エトキシ) フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレートヒドロキシドである請求項 3 に記載の塩又はその多形体。

## 【請求項 7】

請求項 6 に記載のマグネシウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ) エトキシ) エトキシ) フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレートヒドロキシドの塩の形態 A 多形体。

## 【請求項 8】

前記形態 A が、図 7 に示されるものと少なくとも 80 % 同一である X 線粉末回折のパターンを有する請求項 7 に記載の多形体。

## 【請求項 9】

前記多形体が形態 B、形態 C および非晶質より選択される請求項 6 に記載の多形体。

## 【請求項 10】

少なくとも 1 つの薬学上許容可能な賦形剤と一緒に請求項 1 に記載の塩又はその多形体を含む医薬組成物。

## 【請求項 11】

少なくとも 1 つの薬学上許容可能な賦形剤と一緒に、マグネシウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ) エトキシ) エトキシ) フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレートヒドロキシドの形態 A 多形体を含む請求項 10 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 12】

金属の過負荷の治療用医薬の製造における請求項 1 に記載の塩又はその多形体の使用。

## 【請求項 13】

前記金属が鉄である請求項 12 に記載の使用。

## 【請求項 14】

前記金属がランタニド又はアクチニドである請求項 12 に記載の使用。

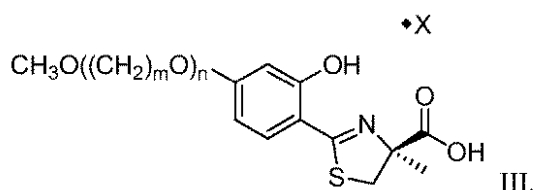
## 【請求項 15】

鉄の過負荷の治療用医薬の製造における請求項 7 に記載のマグネシウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 3 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ) エトキシ) エトキシ) フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレートヒドロキシドの形態 A 多形体の使用。

## 【請求項 16】

式 I I I の塩又はその多形体：

## 【化 2】



(式中、m は 0 ~ 8 の整数であり、n は 0 ~ 8 の整数であり、X は N - メチル - d - グルカミン (NMG)、ピペラジン、トロメタミン、 $Ca(OH)_2$ 、L - リジン、L - アルギニン、 $Mg(OH)_2$ 、NaOH、L - ヒスチジン、NaOAc および HCl から選択

される対イオンである)。

【請求項 17】

m が 2 であり、n が 3 である請求項 16 に記載の塩又はその多形体。

【請求項 18】

m が 2 であり、n が 2 である請求項 16 に記載の塩又はその多形体。

【請求項 19】

1, 3 - ジヒドロキシ - 2 - (ヒドロキシメチル)プロパン - 2 - アミニウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 4 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ)エトキシ)エトキシ)フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレートである請求項 16 に記載の塩又はその多形体。

【請求項 20】

少なくとも 1 つの薬学上許容可能な賦形剤と一緒に請求項 16 に記載の塩又はその多形体を含む医薬組成物。

【請求項 21】

1, 3 - ジヒドロキシ - 2 - (ヒドロキシメチル)プロパン - 2 - アミニウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 4 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ)エトキシ)エトキシ)フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレート又はその多形体を含む請求項 20 に記載の医薬組成物。

【請求項 22】

金属の過負荷の治療用医薬の製造における請求項 16 に記載の塩又はその多形体の使用。

【請求項 23】

前記金属が鉄である請求項 22 に記載の使用。

【請求項 24】

前記金属がランタニド又はアクチニドである請求項 22 に記載の使用。

【請求項 25】

金属の過負荷の治療用医薬の製造における請求項 19 に記載の 1, 3 - ジヒドロキシ - 2 - (ヒドロキシメチル)プロパン - 2 - アミニウム (S) - 2 - (2 - ヒドロキシ - 4 - (2 - (2 - (2 - メトキシエトキシ)エトキシ)エトキシ)フェニル) - 4 - メチル - 4, 5 - ジヒドロチアゾール - 4 - カルボキシレート又はその多形体の使用。